

社会福祉施設における激突され災害の死傷災害発生事例（2017年）

| 2017年発生月 | 時間 | 死傷災害発生事例 | 年齢 | 労働者規模 |
|----------|-------|--|----|-------|
| 1 | 17～18 | 廊下にて落下したカードを拾っていたところ、後方から走って来た男子児童（3年）が腰にぶつかりケガをした。 | 49 | 1～9 |
| 1 | 9～10 | グループホーム施設内にて、利用者の見守の際、車椅子に乗った利用者の倒した椅子が、他の利用者に当たりそうになった為、かばった際、右足ひざの下側にいすの背が当たった。 | 48 | 30～49 |
| 1 | 8～9 | 2Fホールにて、車イスに座っていた入所者の姿勢を直そうとした所、急に動き出した為、入所者の足が当人左膝正面にぶつかり強打した。 | 55 | 50～99 |
| 1 | 16～17 | 障がい児支援施設である当施設内生活棟において、利用者Aが他の利用者とじゃんけん入浴の順番を決めていたところ、Aが、納得のいく結果とならなかったことに激怒し殴る蹴るの行為に及んだため左腕を打撲した。 | 24 | 30～49 |
| 1 | 6～7 | 当法人の認知症対応共同生活介護事業所内において、入居者のトイレ誘導作業中、ホールから「助けて」という悲鳴が聞こえたので駆けつけたところ、男性入居者（認知症、要介護2）が女性入居者を殴りつけようとしていたため、止めようと間に入った際、男性に顔を拳で殴られ左目を負傷した。 | 45 | 30～49 |
| 1 | 14～15 | 1階浴室にて高齢者の入浴介助中、浴槽からあがった高齢者を手引き歩行にて介助をした際に、高齢者が滑り止めマット上で突然歩行が不安定になったため、高齢者を保護しようとしたが間に合わず、一緒に転倒してしまった。転倒した際に体の左側を下にして高齢者の下敷きになり、浴室の床で腰を強打した。 | 58 | 50～99 |
| | 15～ | 園庭で外遊びをしている際、走ってきた5歳男児とぶつかった。後ろからだったた | | 10 |

| | | | | |
|---|-----------|--|----|-----------------|
| 1 | 16 | め体勢を崩し、鉄骨にぶつかり股関節を骨折した。 | 55 | ～ 29 |
| 1 | 19～ 20 | 夜勤業務中、ホールで利用者を見守りしていたとき、強度行動障害の特性があられる利用者が急に不穏になり、右頬を殴られて襟元を掴まれたため、離そうとすると左腕を反対方向に曲げ上げられ、右頬を打撲し、左肩を捻挫した。 | 33 | 50 ～ 99 |
| 2 | 11～12 | 被災者は、当法人施設内の1階女性寮のトイレにて、しゃがんだ姿勢で利用者の着替えを手伝っていた際に、利用者が突然立って突進してきた為、被災者は転倒し、斜め背後にあった扉の角に頭部を打ち負傷した。 | 29 | 30 ～ 49 |
| 2 | 14～15 | クリーニング工場の作業場において、製品を結束する結束機（バーが回転する）のすぐ横にゴミ袋をかける鉄のフレームが置いてあった。本人がその横で製品を積んでいたところ、別の職員が結束機を使用した際、バーが鉄のフレームにあたり、その勢いでフレームが本人の左脇腹に直撃した。 | 44 | 10 ～ 29 |
| 2 | 7～8 | コインパーキングで定期巡回の介護へ行っている際に同行者の介護士が会社の軽自動車でコインパーキングにバックで車を駐車しようとしていた。一番左端のコインパーキングの為、車から降りる際に壁とドアの間が狭い為、先に車から降りた。その後、車が壁にぶつかりそうなので、コインパークの中に入り「オーライ、オーライ」と誘導していた。その後、車が急な勢いで壁側に来て、私は壁側に立って誘導していたので、車と壁に挟まれ左足の太ももが肉離れした。 | 39 | 100 ～ 299 |
| 2 | 17～18 | 利用者様をご自宅に送り、車イスからベッドに移乗させる際、利用者様の頭が胸部に強くぶつかった。痛みが日に日に強くなったため受診したところ、胸部骨ヒビと診断される。 | 46 | 10 ～ 29 |
| 2 | 13～14 | 園庭にて、子供達の外遊びを監督中に、後方から三輪車に乗った子供に激突され、そのまま後方に倒れた。その際に、膝の裏を打撲した。 | 50 | 30 ～ 49 |
| 2 | 13～14 | 施設内で興奮状態の利用者様を対応している時に背中側に作業で使用している机がある状態で、利用者様に突き飛ばされ背中側にあった机で腰をぶつけ、後ろに倒れ込み、右手で支えようとしたら、右手首を捻ってしまった。 | 23 | 10 ～ 29 |
| | | | | |

| | | | | |
|---|-------|--|----|-----------------|
| 2 | 23~24 | 当保育園の園庭にて、園庭から保育室に戻る際、園児を並ばせながら誘導させていたところ、広げていた左手に園児がぶつかり、親指の付け根を捻って親指が逆方向を向いた。 | 43 | 10 ~ 29 |
| 3 | 15~16 | 納品先で車のトランクから納品の品を下ろしているとき、同僚が本人に気づかず、誤ってドアを閉めてしまったため、左頭部にぶつかった。 | 37 | 1~ 9 |
| 3 | 8~9 | 施設内1Fフロアで食事後の服薬介助時、入居者に前方から左顔面、左上腕部、左鎖骨部を殴打され、同付近を足蹴りされる。 | 44 | 100 ~ 299 |
| 3 | 13~14 | デイサービスセンターフロアで利用者Aと利用者Bの言い争いがあり、Aを移動させることにした。移動の際、車椅子に乗っていたAに上半身を抱きつかれ身動き不能の状態になったとき、移動先に座っていた利用者CとDが無理に車椅子を移動させようと動かしたため、車椅子のハンドル部分に右脇腹付近を強打した。 | 41 | 50 ~ 99 |
| 3 | 14~15 | 子ども達とドッチボールをしている時、近距離でボールを投げられボールを取った際バランスを崩し横向きにこけて、左後頭部と左耳下あたりを強打して、頭にこぶができ、歯のかみ合わせの部分がはずれ、銀歯もとれてしまった。脳震盪と診断され、約1週間の自宅安静が必要となった。 | 50 | 10 ~ 29 |
| 3 | 9~10 | グループホームの入居者の部屋にて、車椅子に座られた入居者を前方から、両脇の下に被災者の腕を入れ、抱き抱えベットに移動させようとしたとき、入居者の頭が被災者の胸骨に勢いよく当たり負傷した。 | 68 | 30 ~ 49 |
| 4 | 5~6 | 特別養護老人ホームの3階フロアにおいて、夜勤業務で介護職員として就労中、2ユニットある3階フロアで入所者様が不穏でナースコール頻回のなか、ユニット間を夜勤として頻回に往復する状況で左ふくらはぎに痛みを感じ、その後、左ふくらはぎ筋肉断裂の診断を受けた。 | 41 | 50 ~ 99 |
| 4 | 11~12 | 介護サービス利用者宅の洗面所で、利用者が低血糖をおこし倒れてきたので、利用者の背後に回って支えたときに、背中が反りかえるような状態になり腰を痛めた。 | 58 | 30 ~ 49 |
| | 10~ | 報告書提出の為に訪問先から事務所へ移動の途中、自転車同士で衝突し、腰を圧迫 | | 100 |

| | | | | |
|---|-----------|---|----|-----------------|
| 4 | 11 | 骨折した。（自身が右折しようとしたところ、後から走ってきた直進する自転車とぶつかった。） | 61 | ～ 299 |
| 4 | 9～ 10 | 入居者Aの介護ケア中に、別室のBより何度かナースコールがあったため、Bの部屋に行き「お待ちください」と伝えたところ、「俺を優先しろ」とBが暴れ、Bの足が被災者の左胸部に当たり、左肋軟骨不全骨折となる。 | 41 | ～ 29 |
| 5 | 17～ 18 | 利用者の個室に入り夕食を配膳しようとしたところ、突然利用者が激昂し理解不能な内容の事を叫びながら、介護職員の膝とすね全体を力強く蹴り、左膝と左すね全体を打撲した。 | 38 | ～ 99 |
| 5 | 19～ 20 | 談話コーナーにあるソファに座ってくつろいでいた入所中利用者で認知症男性（84歳、要介護度2）の足元に置いてある痰容器が横転していたので、それを元に戻そうとした当該介護職員が、かがんで手を伸ばした時に男性利用者が右足を上げて、つま先が右脇腹に当たった。 | 67 | 1～ 9 |
| 5 | 16～ 17 | 施設内ホールにて、利用者の見守り支援を行っていた際、急に後方から男性利用者に背中を叩かれる。痛みが残り、頸椎を痛めていたことが分かった。 | 47 | ～ 30 49 |
| 5 | 8～9 | 移動支援でお客様を学校まで送り届けた後、自転車を学童まで置きに戻る途中、道幅の狭い道で、人をすり抜けながら走ってきた自転車の高校生とぶつかった。高校生の自転車のハンドルかブレーキ部分が右手中指と薬指の間にはまり、手の甲にかけて裂傷、左足打撲し、アザを負った。尚、高校生は急いでいたため、名前を聞くのが精一杯な状況であった。 | 69 | ～ 100 299 |
| 5 | 15～ 16 | 2階中間浴側内脱衣室で利用者様を入浴後、整容の為洗面台へ手引き誘導し車椅子に座って頂こうとした時、利用者様がバランスを崩し倒れそうになった為、支えようとしたが、利用者様が上に乗った状態で共に転倒した。 | 49 | ～ 100 299 |
| 5 | 18～ 19 | 勤務施設内1階の食堂にて入居者が食後服薬する薬の確認作業中、介護職員が入居者が乗る車椅子を押して通りかかった際に車イスが左踝に接触し、痛みが走った。 | 53 | ～ 50 99 |
| | 16～ | 保育中、子供と園庭でおしくらまんじゅうをしていた際にバランスを崩して倒れ込 | | 10 |

| | | | | |
|---|-----------|--|----|---------------|
| 5 | 17 | み、地面に右手を強く打った。 | 69 | ～ 29 |
| 5 | 13～ 14 | レクリエーションルームにて、レクリエーションの準備をしている際に、立ててある長机を移動しようとした。長机のキャスターが回りきらなかったために、右足首の上に長机が倒れてきた。 | 40 | 50 ～ 99 |
| 5 | 20～ 21 | 当施設3階廊下にて、入居者が右手で手すりを使い歩行中、バランスを崩し後方に倒れそうになるところを発見する。入居者に声かけを行い、被災者が入居者の左側面より抱きかかえた直後、左手に持っていた杖を振り上げ柄の部分で右後頭部を叩かれる。被災者が頭を抱えていたところに再度、杖の柄部分で右頸部を叩かれ、頸椎捻挫と後頭部打撲傷となった。その後、右上肢に痺れが出現し、頸椎椎間板ヘルニアとなった。 | 50 | 50 ～ 99 |
| 5 | 14～ 15 | 障害者支援室の中庭にてソフトボール投げの練習中に、施設入所者の投げたボールが1～2m程の至近距離から顔面に直撃し、鼻骨を骨折した。 | 58 | 30 ～ 49 |
| 5 | 16～ 17 | 事業所2階勉強室にて子供達に勉強を教えていた時、他の部屋の子供が入室してきて部屋にあった鉛筆削り器を手に取り持って行こうとした際に、振り向き様に鉛筆削り器を持っていた手を振りかぶるように振り回したため、ちょうど後ろを通りかかった被災者の顔面にぶつかってしまった。 | 46 | 1～ 9 |
| 5 | 16～ 17 | 保育園2階テラスのトイレ前で、5歳児クラスの園児が排泄を済ませるのを待っている時、順番待ちをしている園児の頭部と、被害者の鼻がぶつかった。ぶつかった原因は、園児が跳びはねながら前進したのと、被災者がトイレ方向から園児の方へ振り向いたのが同時だったからと考えられる。 | 27 | 30 ～ 49 |
| 6 | 17～ 18 | 合同保育の際、畳に正座した状態で2人の園児を抱えていたところ、前方より1人の園児がぶつかってきて、後方へ転倒してしまった。 | 63 | 30 ～ 49 |
| 6 | 11～ 12 | 保育園の遊戯場でぞう組（年長児）が、たる太鼓の練習をしていた時、太鼓のバチを振り回している子を制止しようとした職員の指に、その子のバチが当たってしまった。 | 22 | 30 ～ 49 |

| | | | | |
|---|-----------|---|----|---------------|
| 6 | 11~ 12 | 作業場にて、当日の作業内容を説明し、作業を開始した際、利用者様が説明と違う作業を始めた。再度、作業についての声かけを行うと、利用者様がフラッシュバックを起こしてしまい、職員に向かってスコップ及びバケツを投げつけた。その後も落ち着かず、休憩室に場所を移し、ほうきで肩・背中・腰を叩かれた。 | 38 | 1~ 9 |
| 6 | 15~ 16 | 支援室にて放課後等デイサービスの支援中、玄関から外にとび出した児童を止めようとして、転倒した。 | 54 | 10 ~ 29 |
| 6 | 14~ 15 | 介護浴洗身介助中に、入居者の体を前屈みになって洗っている時に、スライドドアを脱衣所（自分の後方）から他職員によって開けられた際に、ドアが左腰骨に強く当たってしまい、その後、腰痛を発症した。 | 28 | 30 ~ 49 |
| 6 | 11~ 12 | 1F利用者用フロアにて、椅子に座って書類整理をしていたところ、後方より配膳車がぶつかってきて、前方に投げた出された。その際、骨盤周辺に違和感を覚えた。 | 37 | 50 ~ 99 |
| 6 | 15~ 16 | 放課後等デイサービスの事業の勤務中に、ある児童が他の児童に足蹴りをしていたため、制止した際、児童の肘が右目に入り込むように当たる。その後、右目の見え方に違和感（電灯が消滅するような感じ）が現れ、視力の低下も自覚するようになった。 | 59 | 10 ~ 29 |
| 6 | 16~ 17 | 教室内の休憩スペースで、二人の子ども達と他の指導員が座って行っていたオセロゲームを、その横で床に横座りして見ていた時に、左斜め後方から子どもが低い姿勢で抱きつこうとして、頭の右半分が腰付近に当たった。 | 42 | 50 ~ 99 |
| 7 | 15~16 | 勤務中、不意に背後から飛びつかれ全治2週間の頸椎捻挫との診断をうける。発生時、他児童の指導をしていたために背後から来る児童に気づけなかった。 | 30 | — |
| 7 | 10~11 | 放課後等デイサービスの公園での活動中に利用者が突然走り出したため、利用者の前方へまわり込み、車道への飛び出しを阻止した。行動を止められた利用者が怒り、胸部めがけて頭突きをしたため、胸部を打撲、後方へ転倒した。 | 44 | 10 ~ 29 |
| 7 | 7~8 | 入居者様居室でリクライニング型車椅子に全介助にて移乗して頂いたが、上手く移乗できず、リクライニング型車椅子からずり落ちそうになられた。そのためリク | 34 | 10 ~ |

| | | | | |
|---|-------|---|----|---------------|
| | | ライニング型車椅子後方から入居者様を持ち上げようとした。指導した方法ではない方法で介助したため、グリップがろっ骨に当たり骨折したと思われる。 | | 29 |
| 7 | 10~11 | 保育園内2歳児クラスで、午前のおやつの時間が終わりテーブルを拭いていた。そのとき、園児が引いた椅子に右足小指が強く当たり負傷した。 | 52 | 30 ~ 49 |
| 7 | 9~10 | 利用者の家を出発した直後、送迎車内で利用者の1人が走行中にシートベルトを外し、ドアのキーを解除して外に出ようとしたため制止してたところ、利用者が数回頭突きをし、顔面に頭頂部を強く打ちつけてきた。そのため、利用者の頭が顔面（特に鼻の部分）に直撃し、鼻骨2ヶ所を骨折した。 | 50 | 1~ 9 |
| 7 | 17~18 | 保育所で0、1歳児クラスを担当する被災者は、被災当日の夕方クラスにて保育をしていた。入口のドア前で、膝立ち状態で周りにいる幼児と遊んでいたときに、室内の端から保育者（被災者）に向かって走ってきた幼児に対応できず、左足の辺りに不意にとび込んできた幼児の身体が当たり、左足太ももに挫傷を負った。 | 23 | 30 ~ 49 |
| 7 | 9~10 | 送迎車両で添乗業務を行なっているとき、隣の利用者が急に発作を起こし、左肘が強く右脇腹に当たったため、肋骨を骨折した。 | 61 | — |
| 7 | 8~9 | 当施設において、食堂の中で朝食の後片付け中、利用者より声をかけられ、一緒に探し物（紙のメモ）をしていたところ、事務所の中で紙のメモを見つけたが、利用者が思うものと違うことから、豹変し暴力を振るわれ、右肩を負傷した。 | 56 | 10 ~ 29 |
| 7 | 10~11 | 2人1組でオムツを1Fから3Fへストレッチャーにのせて運搬中、エレベーターから降りようとした際にストレッチャーの車輪部分で左足の指を挟んだ。その日はそのまま勤務を続けたが、翌日受診し、左第5足趾末節骨骨折の診断を受けた。 | 40 | 50 ~ 99 |
| 7 | 11~12 | 入浴準備のため、浴槽（可動式）を動かしていた際、立て掛けていた浴槽が急に倒れ、浴槽の角で左胸を打った。 | 49 | 50 ~ 99 |
| 9 | 14~15 | 避難訓練のため、2Fエレベーター前でエレベーターに乗る順番待ちをしている時に、後ろから介護士が押している車イスに左足首を強打される。 | 46 | 10 ~ 29 |

| | | | | |
|----|-----------|--|----|---------------|
| 9 | 17～ 18 | 施設に来所する前から自閉症の成人利用者の状態が悪く、頓服薬を服用して様子を見ていた際、パニックを起こし、左手の甲にかみついてしまった。 | 47 | 10 ～ 29 |
| 9 | 15～ 16 | 児童デイサービス施設（2階）内にて、子供達を学童保育中の事故である、子供達をプレイルームに座らせ、しばらく待っておくように言った、その内の一人の男児（小1年生）が立ったり座ったりするので、「ちゃんと座っててね。」となだめた、その直後、私がちょっとの間、自分の足元を見て子供から目を離したとき、前方から跳び箱を飛ぶがのごとく、その男児が突進してきた、甘えたかったのかもしれないが、予期せぬことであり、不意打ちの激突で、後方にほとんど直立状態で転倒、右手をホール床につき負傷した。その男児はADHD疑い（障害者手帳なし）で、日頃より衝動的な多動児で、力まかせに突進してくる危険性があり、スタッフ全員で注意しながら指導・支援を行っていた、近くに別の指導員がいたが、一瞬の行動で危険を察知できず制止できなかった。 | 65 | 1～ 9 |
| 9 | 10～ 11 | デスクにて記録を書いていた所、急に右側よりインスタントコーヒーの空き瓶を持った利用者様より右側頭部を殴られる。 | 60 | 10 ～ 29 |
| 9 | 6～7 | 入居者の居室のセンサーが鳴ったため、入室しセンサーを切ろうとしたところ、入居者がベッド柵を外して振り回し、首を強打された、振り返ったところ、再度ベッド柵で右手を強打された。入居者には認知症の症状があった。 | 43 | 50 ～ 99 |
| 10 | 7～8 | 利用者の朝食の時間になったので、朝の着替えの介助をしていたところ、利用者に抵抗されて、その時利用者の肘が左手小指にぶつかった。 | 29 | 30 ～ 49 |
| 10 | 13～ 14 | 1階・風呂場脱衣場にて入浴介助のためシャワーの温度を確認していた際、利用者の方が背中側から倒れかかってきたためその拍子に右足を捻ってしまい右足甲の疼痛。 | 59 | 10 ～ 29 |
| 10 | 12～ 13 | 事業所の玄関前で稲の脱穀機をバックで移動させている時、後方に柱があることに気付かず脱穀機と柱に挟まれ、左下腹部を強く圧迫し皮下出血した。 | 37 | 1～ 9 |
| | | デイサービスフロア内で、トイレ使用後の利用者様を介助しようと、カウンターか | | 30 |

| | | | |
|----|-----------|---|-----------------------|
| 10 | 11～ 12 | ら出てトイレ前に移動中に、椅子に座っていた利用者様が坐面を臀部につけた状態で椅子を持ち上げ、その椅子を降ろす際に左下腿に椅子の足が着地し受傷した。 | 42 ～ 49 |
| 10 | 16～ 17 | 児童館において、児童同士のトラブルを回避しようとしたところ、体重86kgの男児が突然当該指導員の右足の上に倒れ込んできて、右足首から甲にかけて負傷した。 | 10 70 ～ 29 |
| 11 | 15～ 16 | 事業所建物内の玄関前廊下で、職員が対応していた児童Y氏に対して、「一度活動室に戻って次の予定を確認しよう」と促すと、児童Y氏は職員の首に腕を回して自分の方へ引っ張る様子があった。その後、職員に対して両手を振り下ろす様子があり、振り下ろした両手が職員の首周辺にぶつかり、数日後、職員から痛いと報告があり通院した。 | 10 69 ～ 29 |
| 11 | 8～9 | 保健福祉センターにて介護予防事業の準備で椅子を並べる為、広場左側の舞台袖から椅子39脚を乗せたポーターを出そうと引っ張り出した際、ポーターごと本人に向かって倒れ背中から腰部を強打した。 | 100 43 ～ 299 |
| 11 | 11～ 12 | おやつを乗せたカートから中身を取り出し、該当ユニットの配膳車の上に載せる作業をしていた際、カートからおやつを取り出そうと前かがみになっていたところ、後方から流れてきた配膳車に腰と臀部がぶつかりその衝撃で転倒し、後頭部を打ち首に痛みを感じた。 | 300 64 ～ 499 |
| 11 | 5～6 | 5階フロア廊下で、オムツ交換後、台車にオムツを補充するため取りに行こうと振り返り歩き出した際、ソファの脚に右足を強打した。 | 100 43 ～ 299 |
| 11 | 4～5 | 当社介護付有料老人ホーム施設内居室にて利用者のオムツ交換の時、ベッド上で交換をしている時入居者が急に足を閉じようとしたため相手の膝が職員の胸に当たってしまい負傷したものである。（入居者は認知症身長140cm、体重37.1kgの方） | 50 81 ～ 99 |
| 11 | 14～ 15 | 法人の敷地内の地域交流センターにて、長机を片付ける作業をしていたところ、長机のレバーを引いて天板を寝かせようとしたつもりが、不注意でレバーを引ききれておらず、長机が倒れてきて、足を負傷したものである。すぐに強い痛みが出て当日に受診した。 | 100 42 ～ 299 |

| | | | | |
|----|-----------|---|----|-----------------|
| 11 | 15~ 16 | 転倒した入居者を車椅子に移乗後、部屋のベッドに座っていただくために前から抱え、入居者が前屈みの腰を折った状態で立たせ、入居者には、両腕を持ってもらい、入居者の頭部が、労働者の胸に当たっている状態で、看護部と共に入居者をベッドに移乗した。その際、入居者の頭部が労働者の胸に当たった状態で負荷と回転がかかった。 | 42 | 30 ~ 49 |
| 11 | 17~ 18 | 車で直進中、脇道から右折進行しようとした相手車両と衝突した。 ※業務（会議出席）のため事業所の車両にて走行中 | 63 | 100 ~ 299 |
| 11 | 8~9 | 園内において、レントゲン撮影のために部屋を出て、ドアの鍵を閉めようと後ろ向きになったところ、園生にいきなり背中を2回突き飛ばされ、負傷した。 | 46 | 30 ~ 49 |
| 11 | 17~ 18 | 施設用のトイレ付近において、壁に掛けているホワイトボードに記入している時、後ろから施設利用者に押され、柱の角で顔面を強打し転倒し、口、首、顔、足を負傷した。 | 57 | 10 ~ 29 |
| 12 | 20~21 | 利用者様の排泄介助のため居室を訪室した際、ベッド柵をはずした（上に引き抜いた）時に勢い余って後方に倒れそうになったため、体勢を戻すため前方に身体を動かした際に持っていたベッド柵を左足にぶつけて受傷した。 | 44 | 50 ~ 99 |
| 12 | 14~15 | 施設浴場脱衣所で、入浴が終わった利用者の更衣介助中、車いすに座った利用者にリハビリパンツをはかせるため車いすに座った利用者の左足側でしゃがんだ姿勢をとっていた時、突然、利用者が被災者の右耳付近を手で強打したことにより、受傷した。利用者は認知症を患っている方で、理由は不明である。 | 48 | 100 ~ 299 |
| 12 | 18~19 | 施設内の2階フロアで、夕食後の服薬時の声掛け時、耳が聞こえにくい利用者の為、左耳に近寄り薬の事を声掛けした際、いきなり利用者の左側の頭が自分の目、鼻を直撃した。頭突きされたようになり、直後に左側の鼻から出血した。左目はコンタクトを装着していた為、充血、腫れ、涙が止まらなかった。 | 52 | 10 ~ 29 |
| 12 | 9~10 | デイルームにて利用者を車椅子からクッションチェアへ移動させようと利用者の後方から腋窩に手を入れた所、利用者の反り返った後頭部が左側頭部から前頭部にかけ当たったため、頸部を右に捻り負傷したものである。 | 51 | 100 ~ 299 |

| | | | | |
|----|-------|--|----|-----------------|
| 12 | 16~17 | 児童施設内で、利用者の男子小学2年生（水頭症を伴う二分脊椎症、身体障害3級、身長120cm、体重30kg程度）に突然抱きつかれた際、当該児童ごと後ろにひっくり返りそうになったため抱き止めようとしたとき、左手親指が後ろに反り返って負傷した。 | 62 | 10 ~ 29 |
| 12 | 9~10 | デイケア利用者を自宅へ迎えに行った際、利用者の体のふらつきがひどかったので、玄関先の階段（4段、段差15~20cm）を降りる際に対面の位置に立ち、利用者に手を添えて後ろ向きに下りていたところ、利用者の手に持っていた杖が被災者の右足親指上に乗ったことで、利用者がふらつき、手に持っていた杖に体重（約53.9kg）がかかったため、右足親指を痛めた。 | 47 | 100 ~ 299 |

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html